



野生植物研究所だより



● 夕方閉じ、日中花開く カタクリの花 ●

様々な種類の草花が咲き、その咲き出す種類も日増しに増えています。早春に咲いたフクジュソウなどはもう種子がだいぶ大きくなってきました。そんな草花の中で、夕方になると花が閉じて、朝、明るさを増してくると閉じていた花を開く種類が見られます。花壇等でよく見かけるクロッカスやフクジュソウ、セイヨウタンポポやエゾタンポポ、そして、カタクリの花もその一つです。



フクジュソウ



クロッカス

カタクリの花の状態がどう変化したかを、朝から夕方まで写真を撮って観察してみました。
(←左の写真をご覧ください。)

カタクリの花を見ると、夕方遅くには花が閉じて蕾のような状態になります。朝方も同じ状態です。ある方が「いつもカタクリの蕾だけを見て、花が開いているところを見たことがない」と言っていたのですが、それもそのはず・・・庭に植えてあるカタクリの花を朝方見て勤めに行くのですが、帰って来るのは遅いということで、いつも蕾のような状態のカタクリの花を見ていたのですね。



セイヨウタンポポ

花が閉じたり開いたりする運動は、花卉の外側と内側の細胞の成長によるものだと思いますが、私はまだ確認していません。明るくなって花が開く時には、花卉の内側の細胞が成長し、夕方閉じる時には外側の細胞が成長するのでしょうか。そうすると、日が経つにしたがって、花卉も少しずつ大きくなるのでしょうか。そのようなことも、まだ確かめておりませんが、花の種類によっては、花が閉じたり開いたりする運動は、明るさに関係のある種類もあれば、温度の変化による種類もあるということです。調べてみるとおもしろいのではないかと考えております。

● 穂波の郷クリニック「元気の森」ビオトープの修理と増えた水草 ●

冬の間、ビオトープ周囲の土が少し崩れたので、樹木医の佐々木正承さんが修理をしてくださいました。

昨年植えたアサザやミツガシワ、ヒメカユウ等の水草が成長してきました。その状態を見ますと、昨年植えた時より、数倍は増えているなと思いました。これから、花が咲き、水面を飾り、メダカが泳ぐ姿が楽しみです。皆さんも、ぜひ、機会がありましたら、穂波の郷クリニック「元気の森」のビオトープへと足をお運びください。



ヒメカユウとミツガシワ



ビオトープ修理中



アサザ

(4月14日撮影)

【連絡先】 〒989-6252 宮城県大崎市古川荒谷字簗ノ子町 12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/>

E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>